

ぐるり360

～自治調査会だより～

2015
2

NO. 017

〔発行日〕
2015.2.1



【写真提供】瑞穂町 【撮影場所】栗原園芸

- ▶ オール東京62市区町村共同事業 みどり東京・温暖化防止プロジェクト
 - ・みどり東京フォトコンテストの結果が発表されました！…… 2
 - ・エコプロダクツ 2014 に出展しました …… 3
- ▶ 多摩交流センターだより
 - ・多摩発・遠隔生涯学習講座 …… 4
 - ・東京雑学大学講義案内 …… 4
 - ・第22回 TAMA とことん討論会 参加者募集 …… 5
 - ・会議室利用登録団体の方へお知らせ …… 6

- ・広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介 …… 7
- 第8回北多摩合同演奏会
- ▶ 編集後記 …… 7
- ▶ とっておきスポット～“ココ” ご存じですか？～瑞穂町…… 8

Contents

2月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」は、東京で暮らす私たちにとって大きな課題である温室効果ガスの削減やみどりの保全について、東京都内の全62市区町村が連携・共同して取り組む事業です。特別区長会、東京都市長会、東京都町村会が主催し、当調査会は(公財)特別区協議会と共に企画運営団体として参加しています。

今回は、平成26年度事業の中から、『みどり東京フォトコンテスト』の結果と『エコプロダクツ2014』への出展について報告します。

みどり東京フォトコンテストの結果が発表されました!



本紙9月号(No.012)でもお知らせしたように、本年度、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」では、東京の自然の美しさを再認識し、みどり保全に関する意識向上、グリーンツーリズムの促進を図るため、東京の自然をテーマにフォトコンテストを実施し、平成26年9月30日に応募を締め切りました。

応募点数は、目標をはるかに超える2,230点となりました。ご応募いただきました方々には、この場を借りてお礼を申し上げます。

入賞者(計53点)の結果につきましては、「みどり東京フォトコンテストホームページ(<http://all62.jp/midori-photocon/index.html>)」でご覧いただけます。また、優れた入賞作品の中から「2015 カレンダー」を作成し、各市区町村へ送付するとともに、平成26年12月11日(木)～13日(土)に開催された、「エコプロダクツ2014」(右ページ参照)の本事業の出展ブースにて来場者に配布しました。このカレンダーは、上記ホームページからダウンロードできますのでご活用ください。

なお、一部受賞者の作品については、「社会福祉支援」を目的として、都内の福祉施設へ寄贈されますので、お近くで見かけることがあるかもしれません。

都民の皆様には、年間を通じて四季折々の美しい都内の風景を再認識していただきたく、これを機会に撮影された場所へぜひとも足を運んでいただければ幸いです。



かれん



シーナ

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

▲入賞者の作品を使って作成したカレンダー



エコプロダクツ 2014 に出展しました

平成26年12月11日(木)～13日(土)の3日間、東京ビッグサイトで「見つけよう!未来をかえるエコの知恵」をキャッチフレーズに、『エコプロダクツ2014』が開催されました。

エコプロダクツは700を超える先端エコ企業・団体・NPO・学校、17万人のビジネスパーソンやファミリー、学習の一環として1万6,000人を超す生徒・団体、エコに取り組む著名人、環境政策に影響力を持つキーパーソン等が集結する日本最大級の環境展示会です。

オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」では、平成23年から同事業及び各市区町村が実施している環境施策等の普及・啓発を図る目的で、この展示会に出展しています。



▲お囃子の音色も聞こえるブース入口



▲工夫を凝らした各自治体の展示



▲本プロジェクトの説明

今回の本事業のブースコンセプトは「東京の空の下 みんなでつくる 森の祭」です。祭りのにぎわい感を演出しながら、それぞれの地域で、日々取り組んでいる環境保全のための活動、地域らしさを活かして進めている取り組みを披露しました。

各参加自治体は工夫を凝らしたパネルを展示し、その取り組みを題材にしたクイズ「東京ecoめぐりスタンプラリー」を行いました。ゴールした参加者にはエコくじと自治体名の入った千社札ステッカーを配りました。また、それぞれの自治体の特徴を活かしたワークショップが行われるとともに、中央のステージでは各自治体の行うエコ活動の発表や、エコイベントが日替わりで開催されました。中でも高校生、大学生も活躍するエコレンジャーショーは、子供から大人まで楽しめる内容で大人気となっていました。

3日間で延べ3,490人がブースを訪れ、大盛況の内に幕を閉じました。全ての人に関わる環境保全を、一人ひとりが受け止める問題として再認識していただく良い機会となったのではないのでしょうか。



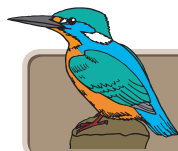
▲ブース外景



▲様々なワークショップを実施



▲大人気のエコレンジャーショー



多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



2・3月予定の講座案内

132回

日時 平成27年2月12日(木) 14:30から約1時間
題名 日本画って何？
講師 伊東 正次 氏(日本画家(日展特選受賞、現在日展会友)、多摩美術大学絵画研究科修了)
内容 日本画の展覧会場で「日本画って何ですか?」という質問を受けることがあります。その折には、「画面に顔料をくっつけているメディウムが違います。油絵は顔料を油で、日本画は顔料を膠^{にかわ}で接着します」と申し上げます。でも、その説明は正確ではない。いえ、かなり怪しいのです。さあ、「日本画って何?」と一緒に考えてみませんか。

133回

日時 平成27年3月12日(木) 14:30から約1時間
題名 地熱発電の現状と展望
講師 水谷 滋樹(現:川崎地質(株)技術顧問、元:電源開発(株)、住友商事(株))
内容 日本は世界3位の地熱資源ポテンシャル(2,340万kw)を保有しています。しかしその2%強の52万kwが17地熱発電所にて商業発電されているに過ぎません。この背景には資源の多くが国立公園内にありその開発規制や十分な経済性が得られないことがあります。環境省や経済産業省の導入促進策や資源開発リスク回避策について報告します。

○**受講料** 無料(ただし資料代100円)

○**メイン会場** 多摩交流センター 第2会議室(申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください)

○**サテライト会場** 武蔵野スイングホール10階スカイルーム1(2月12日)、武蔵野市かたらいの道(3月12日)

○**ライブ中継・VOD視聴について**

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 080-3427-9848(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

3月講義案内

(会員は受講料無料・会員外は3月12日を除き、1回につき500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第979回	3月5日(木) 14:00から	ケミカルバイオロジーという分野	久城 哲夫 氏 (明治大学農学部准教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)
第980回	3月12日(木) 14:30から	地熱発電の現状と展望	水谷 滋樹 氏 (現:川崎地質(株)技術顧問、 元:電源開発(株)、住友商事(株))	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第981回	3月19日(木) 14:00から	忠臣蔵の真相一討ち入り	吉田 豊 氏 (江戸文化研究家)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第982回	3月26日(木) 14:00から	地球環境と生物多様性(仮題)	一丸 節夫 氏 (東京大学名誉教授(物理学))	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

第22回 TAMA とことん 討論会

参加者募集

多摩地域のごみの量は全国平均を下まわり、リサイクル率に関しても高い水準を維持しています。これらの数値は、市民の減量意識、事業者の協力、行政の取り組みなどが重なり合い、それぞれが努力してきた成果といえます。しかし、ごみ問題に終わりはありません。

そこで、今回の討論会は、食べ物を切り口に、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の中でもっともごみ減量に有効であるリデュース(ごみそのものを減らす)に主眼を置き、関係する方々から資源を大切に、極力ごみを出さない手法についてお話を伺います。多摩地域のごみ量をより減少させるためのしくみや行動について参加者全員で話し合しましょう。

また、討論会当日には、リデュース事例のひとつとして、多摩地域の市民対象に募集する「ムダなし料理」レシピ大賞の表彰を行います。どうぞご参加ください。



▲基調講演（昨年の様子）

○テーマ もっと減らせるTAMAのごみ
～食べ物とリデュースのいい関係～

○日 時 平成27年3月14日(土) 12:30～17:30

○会 場 アウラホール（多摩市関戸1-11-1
京王聖蹟桜ヶ丘S・C A館6階）

○参加費 無料
(ただし、希望者は資料代500円 報告書500円)

○主 催 第22回TAMAとことん討論会実行委員会
(特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦、公益財団法人東京市町村自治調査会)

○後 援 (予定含む)
東京都 東京都市長会 東京都町村会
多摩市 公益社団法人東京都リサイクル事業協会
一般社団法人廃棄物資源循環学会

●プログラム（詳細はホームページ<http://www.renpou.org>）

開会のあいさつ

「ムダなし料理」レシピ紹介と表彰

基調講演

「リデュース」のある暮らし 石川 雅紀 氏(神戸大学教授)

リレー講演

食品容器のリデュース～びんの軽量化と薄肉化 幸 智道 氏(ガラスびん3R促進協議会事務局長)
食品ロスと包装 石谷 孝佑 氏(一般社団法人日本食品包装協会理事長)
楽しいムダなし料理づくり 江尻 京子 氏(東京・多摩リサイクル市民連邦事務局長)

パネルディスカッション

「もっと減らせるTAMAのごみ」コーディネーター 山本 耕平 氏(ダイナックス都市環境研究所所長、東京・多摩リサイクル市民連邦会員)

開会のあいさつ

◇問合せ先 第22回TAMAとことん討論会実行委員会事務局
特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦事務局内
電話 090-3818-7006 FAX 042-400-0096 Email tama.recycle@gmail.com

■ムダなし料理レシピ募集

野菜やくだものがたくさん手に入ったとき、作ったお料理が残ってしまったときなど、生ごみとして捨ててしまわず、ちょっとした工夫で出来るもう一品!! ぜひ、あなたのお料理レシピを教えてください。

対 象 東京都多摩地域在住者 ✕ 切 平成27年2月18日(水)

選 考 実行委員会で行います。(ムダなし料理大賞 数名・実行委員会特別賞 数名)

平成27年3月14日(土)に表彰式を行います。なお、全応募者(グループ)に記念品を差し上げます。

応募方法 専用の応募用紙を使用してください。

応募用紙の入手方法 実行委員会事務局あてにFAXまたはメールで、住所とお名前をお知らせください。ホームページからダウンロードすることもできます。<http://www.renpou.org>

会議室利用登録団体の方へお知らせ

会議室利用登録の更新について

多摩交流センター会議室利用登録団体の登録期限は、登録または更新してから3年度目の3月31日までです。登録の更新を希望する場合、所定の書類を提出していただいております。該当する団体には更新案内を通知しますので、期日内に必ずご提出ください。

ロッカー・棚の貸出について



～間もなく利用期限・平成27年度の利用申込開始です～

会議室利用登録団体貸出ロッカー・棚の利用期限は毎年3月31日までです。現在利用している団体は期日までに荷物をお引き取りください。また、平成27年度の利用を希望する団体は、所定の書類を提出していただきます。貸出団体及びご利用いただくロッカー・棚は抽選で決定します。

コピー機の入れ替えについて

平成27年度より、印刷室のコピー機が新しくなります。それに伴う利用方法の変更については、詳細が決まり次第ご案内いたします。

会議室利用手続きについて

会議室利用予約は利用希望月の3ヵ月前に申し込みを受け付け、翌月に利用が確定します。希望団体の重複がある場合は抽選を行います。抽選日の13:00より、空き会議室の利用を希望する団体を先着順で受け付けます。なお、利用が確定した団体は、利用日の7日前までに「多摩交流センター会議室利用申請書」をご提出ください。

- 「会議室利用申し込みスケジュール」を、多摩交流センター窓口で配布しています。また、当調査会ホームページからもダウンロードいただけます。
- 会議室利用予約申込は当調査会ホームページ専用フォームからお申込みいただけます。なお、後日多摩交流センター窓口で申請書の提出が必要です。
- キャンセルの場合は速やかにお申し出ください。早めにご連絡いただけますと他の団体が利用できます。なお、利用日10日前以降のキャンセルについては、施設管理の都合上、平日の9:00から17:00の間(当日夜間の場合は15:00頃まで)にご連絡ください。



ご利用にあたって・・・

皆様に快適で安全にご利用いただくため、下記についてご協力をお願いします。

- **共用スペースに物を置かないでください**
共用スペースに荷物を置くと他の利用団体の迷惑になります。また、ロッカーの上に荷物を置くと落下などの危険があります。荷物は決められた場所に保管してください。
- **ごみ類は各自でお持ち帰りください**
空ペットボトルや紙コップなどトイレのごみ箱に捨てないでください。また、会議で使用した資料等の残りもお持ち帰りください。
- **忘れ物にご注意ください**
自転車の鍵・ハンカチ・ポーチ・帽子・鞆など様々な忘れ物をお預かりしています。「忘れたかな？」と思ったら一度センター事務室へお声かけください。

広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介

第8回北多摩合同演奏会

日 時 平成27年2月15日(日) 開場14:00 開演14:30

場 所 保谷こもれびホール(メインホール)

西武池袋線保谷駅南口徒歩15分、またはバス「保谷庁舎」下車

内 容 東京都北多摩地域(5市)で活動するアマチュアの音楽団体が一堂に会し、年に1回開催している演奏会です。当地域の音楽団体の交流の場であり、また多摩六都合同演奏会としての第1回目から名称は変わりましたが、身近な音楽に親しめる演奏会として20年以上地域から親しまれていきます。小学生から社会人までの幅広い年齢層の参加者による、吹奏楽、ビッグバンド、弦楽アンサンブルの演奏をどうぞお楽しみください。

参加費 無料

【主 催】北多摩合同演奏会実行委員会 【問合せ】TEL 090-6168-1885(井上)



「多摩交流センターだより」の問合せ先

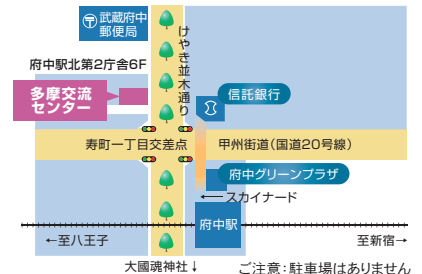
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127 Eメール tama001@tama-100.or.jp

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (自治調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 昨年12月に開催された「エコプロダクツ2014」を見に行く機会がありました。当日は、大勢の方が各自自治体のブース等を熱心に見学するとともに、ワークショップなどに楽しそうに参加していました。詳細については本文の記事に譲りますが、これをきっかけに1人でも多くの方が地球温暖化防止、みどり東京づくりに参加するようになればと思います。
- ところで、近年外来種及び移入種による在来種への影響や、希少種の絶滅の危機が高まっています。東京都によると、多摩地域ではアライグマによるトウキョウサンショウウオの食害が発生するなど、外来種・移入種の捕食等が、希少種の絶滅リスク要因の1つとなっています。また、緑の減少、手入れ不足、盗掘の影響等により、エビネ(ランの一種)などの希少種が絶滅の危機に追いやられています。
- 周知のように、地球環境は人間を含む生き物の膨大なつながりとその相互作用により成り立っていますが、地球上の総種数3,000万種ともいわれる生物は、人間活動による影響が主な原因でその多くが絶滅の危機に瀕しており、絶滅スピードは自然状態の約100~1,000倍にも達しています(環境省HPから抜粋)。そのような現状に対し、平成20年度に生物多様性基本法が公布・施行され、都道府県及び市区町村に「生物多様性地域戦略」(以下「地域戦略」という。)の策定が努力義務化されたことを受け、都内市町村でも「地域戦略」を策定する動きが始まっています。
- その1つで、平成26年9月に地域戦略を策定したあきる野市の取組を伺う機会が先日ありました。同市では、市内の6割を占める森林について、これまで人と森との新たな共生の姿を創出することを目的とする「郷土の恵みの森構想」を策定し、地域住民との協働による森の中の道づくりや景観整備、森林レンジャーによる生物調査、子ども達を対象とする環境教育などを進めてきまし

た。また、市民で組織する自然環境調査部会による動植物の調査も継続してきました。こうした取組を通じ、希少野生生物が多数生息することが明らかとなり、「地域戦略」の策定に結びついたとのこと。

- 視察当日は、①東京都指定の横沢入里山保全地域(ゲンジとヘイケの両ホタルの生息地域)、②深沢川流域(地域住民が尾根道整備や森の景観整備を実施)、③小宮ふるさと自然体験学校(小学生や市民等を対象とした自然体験事業等を実施)を見学させて頂きました。市民(団体)、事業者、学識経験者など庁外関係者との密接な連携、庁内関係部門との地道な調整、それをまとめる担当部門の熱意によって「地域戦略」の策定・実施が円滑に進められていると強く実感しました。今後は、保全の方向性や保全区域の指定を定める条例制定、専門家や市民が参加する「(仮称)生きもの会議」の設置、市版レッドリスト等の作成を進めるとのことです。
- 当調査会では、平成22年度の「市町村の生物多様性地域戦略策定に向けた提言(生物多様性の保全及び再生に関する調査報告書)」において、地域ごとの特性(自然的・社会的条件)や自治体経営におけるニーズにあわせた「地域戦略」を策定する際の必要な考え方や手法等を提言しています。
- 今後は、地理的に不可分な都内23区とも協力しつつ、地形・水系、都市化の状況、市民との協働のあり方などを踏まえた「地域戦略」を、都内39全市町村が個別又は連携・共同して策定することにより、これまで以上に生物多様性に満ちた多摩・島しょ地域が広がることを期待したいと思います。当調査会としても「オール東京62市区町村共同事業 みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の枠組みを活用することなどにより、必要な支援に力を尽くす決意です。(M.I.)

とっておきスポット

第5回

瑞穂町

“ココ”
ご存じ
ですか?

瑞穂町といえば、表紙のシクラメンと東京狭山茶を連想するかもしれないけど、今回はわたげのボクが、「みずほきらめき回廊」を紹介するよ。

瑞穂町では「みずほきらめき回廊」という愛称の「水・緑と観光を繋ぐ回廊計画」を住民のみなさんと進めてるんだ。自然環境資源と歴史的資源を結び付けて観光振興を図ってるんだよ。

回廊の拠点施設の「けやき館」は、瑞穂町で受け継がれてきた歴史や文化を伝え、郷土愛を育む郷土資料館として、平成26年11月16日に開館したんだ。何度でも来たくるように、瑞穂町の魅力を発信し続けて、大勢の方に楽しんでもらってるそうだよ。

けやき館に隣接する「耕心館」は、武蔵野の旧家の佇まいを残す憩いの場だよ。母屋の1階はレストランとギャラリー、2階には多目的スペースがあって、展示会やクラシックコンサートが開催されてるんだ。

ここでは2月25日から3月15日まで「瑞穂のつるし飾り」が開催されるよ。“瑞穂にたくさん人が来てほしい”という願いを込めて、コツコツ作り続けて11年、展覧会はなんと10回目を迎えたんだ。お飾りも5,500個を超えてるんだって！

この回廊には、都内最大級のカタクリ群生地「さやま花多来里の郷」もあるんだ。カタクリはスプリングエフェメラルの代表格の花で、根付いてから花を咲かせるまで8年もかかるといわれているんだよ。ここでは約3,000㎡の斜面一面に20万株以上の見事なカタクリの群生を見ることができるんだ。見頃は3月下旬～4月上旬で、数万株に1株といわれる幻の白カタクリも花を咲かせることがあるんだって！みなさんも「みずほきらめき回廊」に、ふわっと行ってみて！

【現地案内】

《瑞穂町郷土資料館「けやき館」・「耕心館」》JR箱根ヶ崎駅東口から徒歩20分
休日等詳細は、下記へお問い合わせください。

- 瑞穂町郷土資料館「けやき館」 開館時間：9:00～17:00 TEL：042-568-0634
- 「耕心館」 開館時間：10:00～21:00 TEL：042-568-1505

《さやま花多来里の郷》JR箱根ヶ崎駅東口から徒歩15分
開園期間等はカタクリの開花状況によります。詳細は瑞穂町観光情報サイト「いってんべえ～みずほ」(<http://www.ittenbee-tokyoumizuho.jp>)をご覧ください。瑞穂町建設課(TEL:042-557-7659)へお問い合わせください。

【情報・写真提供】瑞穂町都市整備部産業課



【発行日】平成27年2月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】石井恒利

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>

VEGETABLE
OIL INK